

## IT Spiral 第4回運営委員会 議事録

日時：2007年2月6日 16:00～18:30

場所：大阪大学 中之島センター3階 302号室

### 出席者（敬称略、順不同）

井上，楠本，吉田（阪大），深海（大阪工大），沢田（京大），上原（神戸大），松本，M. Barker（奈良先端大），中本（兵庫県立大），大西（立命館大），鱈坂（和歌山大），荻原（高知工科大）宗平，橋本（オーグス総研），志水，木村（千里国際情報事業財団）

### 配付資料

1. 外部評価委員会について
2. 実践ソフトウェア科目 4/20 オリエンテーション
3. 授業日程表
4. 2/9 意見交換会プログラム
5. 2/9 意見交換会出席者一覧
6. ICSE 教育論文

### 審議項目

1. 前回議事録確認、配布資料確認（井上）  
前回議事録の説明を行い，特に問題なく了承された。
2. 教材開発 WG1 について（鱈坂）  
順調に進行している．毎週実施．要求分析を実施している．  
種々のドキュメントは収集されつつある．  
成果物はバージョン管理ツールで管理している．
3. 外部評価委員会について（配付資料1）（井上）  
委員のメンバーと外部評価委員会スケジュール（3/30 10:00-13:00）について報告があった．各大学の代表メンバーに対して出席要請があった．  
内容を説明した上で，その場で頂いたコメントをまとめて評価書にする予定．  
後日，事務局より出欠案内を送付する予定．
4. 受講生レベル評価用テストについて（井上）  
IT Spiral 科目を受講する前後でテストを行い，効果を評価することを検討している．  
大阪大学の大学院教育イニシアティブプログラムで，Struts の知識テストを行った．

情報処理技術者試験の一般的な問題を利用したテストを作成し、全体のレベル、個々のレベル等を確認した上で、グループ分けを行うことを考えている。

修了時には、教えた内容を理解していることを確認するための一般的な試験と個々の授業で行った内容の2種類の試験を行うことを考えている。後者の試験は講師の先生に考えていただく。

基本情報処理技術者試験レベルのもの（学部4年をでたくらい）が妥当ではないか。問題作成の手間をどう考えるか。

#### 5. 実践科目について（津田）

「テキストについて」、「4/20のオリエンテーションについて」報告があった。

「実践科目」に参加される教員の情報（氏名、知識、特技？）を2月末までに連絡する。照会メールを別途送付する。

実践科目の講義、演習室の情報に一部修正有り。修正版は別途通知する。

#### 6. 各大学院での準備状況

兵庫県立大：ビデオ作成を2月末に実施する。補助教材、演習課題を作成中。講義で雑誌や論文をPDF化して配布することはよいか？阪大のサーバで管理できるかどうか検討する。パンフレット作成等は3月以降

立命館大：ビデオ作成も順調に実施。簡単なパンフレットを作成する。5名は出せる。

京大：ビデオ作成を来週(2/14,19)実施する。それをチェックした上で、中本・丸山先生に伝える。パンフレットは現在作成中。実践科目に関して京大から人は出ない。

神戸大：ビデオ作成を自前で作る。希望者が14名。自前のパンフレットは後日作成する。

大工大：5人。先端科目のビデオ作成は3月。

和歌山大：ビデオ作成教材を購入して、随時撮影予定。3名は出す。

奈良先端大：ビデオ作成教材を発注した。奈良の授業形態に応じた学生の派遣を考えている。人数は不明。パンフレットは案を作成中。

高知工科大：ビデオ作成機材を購入した。3月中に撮影予定。学生は2名予定。パンフレットを別途作成する。補助教員は検討中。

阪大：ビデオ作成機材を購入した。3月に作成。パンフレットは大体できている。学生数は予測つかない。14名。特任の助教を確保する予定。

全体への依頼事項：3月30日の評価委員会までにパンフレット（ちらし等）は作成して欲しい。

7. 予算の執行状況・来年度の予算案

H19 予算について説明があった。修正指摘項目については後日修正する予定。

8. 2/9 意見交換会について

意見交換会について説明があった。

9. 次回以降の運営委員会

3/27 16:00～ 中之島センター

議事次第：

1. 前回議事録確認、配布資料確認（井上）
2. 教材開発WG 1について（鯨坂）
3. 外部評価委員5名の紹介と実施予定日について（井上）＊配布資料
4. 受講生レベル評価用テストについて
5. 実践科目について（津田）
  - 1.実践科目で使用するテキストについて（津田）＊配布資料
    - ・文部科学省「IT スペシャリスト育成」事業向け教材開発企画
  - 2 4/20のオリエンテーションについて（津田）＊配布資料
  - 3.実践科目構築の為の補助教員手配、TAアサインについて
  - 4 実践科目の講義、演習室について（中之島センター講義室確保済み）＊配布資料
7. 各大学院での準備状況について
  - 1 先端ソフトウェア科目 ビデオ撮影等の進行状況について
  - 2 入試応募要項作成状況
  - 3 各大学院パンフレット作成状況
8. 予算の執行状況・来年度の予算案
9. 2月9日開催「先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラム拠点意見交換会」について  
＊配布資料
10. 次回以降の運営委員会について（井上）

ITSpiral 第3回運営委員会 議事録

日時：2006年12月13日 16:00～18:30

場所：大阪大学 中之島センター9階会議室

出席者（敬称略、順不同）

井上, 楠本, 吉田 (阪大), 深海, 佐野 (大阪工大), 沢田 (京大), 大川 (神戸大), 飯田, 岡田, 松本, M. Barker (奈良先端大), 中本 (兵庫県立大), 大西, 丸山 (立命館大), 鱒坂 (和歌山大), 宗平 (オージス総研), 木村 (千里国際情報事業財団)

配付資料

1. ITSpiral 第2回運営委員会 議事録
2. 先進科目 SWEBOK のカバレッジ
3. 先端ソフトウェア工学科目一覧
4. 先端ソフトウェア工学科目 ppt テンプレート
5. 実システム教材開発会議資料
6. 新聞記事 (産経新聞, 読売新聞)

審議項目

1. 前回議事録確認、配布資料確認 (井上)  
前回議事録の紹介.
2. 先端ソフトウェア工学科目群 WG (沢田)  
先端ソフトウェア科目の内容で, SWEBOK の内容を全てカバーできているので, 現時点では内容調整はしない.  
1 大学しか対応していない項目については, その大学で十分に講義をして欲しい.  
重複内容については, ビデオ教材ができあがってから実施する予定である.

検討事項:

- (1) 各大学科目と講義に対して通し番号をつける必要がある.  
番号の付け方は沢田先生に一任.
- (2) ドキュメントのコンフィグレーションマネジメントの枠組みを作成する (阪大).
- (3) 各大学の先端科目 (5 回分) についてのチャプター名と前提知識の情報 (教科書, キーワード等々) を含めたシラバスを連絡 (12/25 までに吉田さんまで). 成績評価の方法を明示する.
- (4) ビデオファイルのフォーマット等については, DVD ビデオ, WMV ファイルを

基準とする。

3. パワーポイントのスタイルシートについて（飯田）  
コメント修正がある場合は、今年度中に飯田先生まで。
4. 教材開発 WG1（鯉坂）  
和歌山大学発注分は、あさかわシステムズが受注した。  
第一回の実システム教材開発会議を 12/4 に行った。  
阪大発注分は、現在実施中。
5. 外部評価委員会の人選とスケジュールについて（井上）  
大学、企業系で推薦があれば井上先生まで。委員会は 3 月末頃に実施予定。
6. 各大学院での準備状況  
阪大：粛々と進行中。  
神戸：科目新設は問題無い。来年度履修要項を作成した。ビデオ撮影を自前に変更するかも知れない。  
大工大：PC 等発注済み。謝金がまだ。学則等の改訂・単位互換も修了。ビデオはまだ。学生は現状 4, 5 人の予定。人数の上限は？派遣教員は前半深海先生。後半は別の教員 2 名が来る予定。  
和歌山：粛々と進行中。来年度特認教員については未定。  
奈良先端：協定書は明日の教授会にかかる。先端科目の追加についても明日諮る。  
京大：単位認定について阪大で行われる実践科目については OK。基礎科目も OK。先端科目を新設することについて議論中。  
兵庫県立：予算消化に苦戦。教務委員会よりビデオ講義についてコメントがあった。  
立命館：協定は理工学部・理工学研究科委員会で承認された。単位認定も OK（特殊講義として）。来週の全学の会議で承認されれば OK。来年度助手を採用予定。PC 発注済み。
7. 広報活動の現状（井上、木村）  
パンフレット作成中。12/26,27 納品。年明けに各大学（代表者宛）へ送付。  
奈良：1000, 阪大：1500, 京大：500, 和歌山：500, 神戸：600, 兵庫：500,  
大工大：500, 立命：500, 高知：500（仮）  
Web は暫定版。  
ドキュメントシェアと連携させたい。

8. 受講生のレベル評価用テスト（井上）  
現在検討中.
9. 実践科目について（井上）  
ほぼ **fix** している.  
中之島センターの部屋は使用できる予想
10. 来年度以降の作業確認  
実践ソフトウェア開発科目群補助教員の手配, TA 等アサインについては次回議論.  
来年度の予算案について（3月2日までに要望を楠本まで提出）
11. 次回以降の運営委員会について（井上）  
2/6(火) 16:00～ 中之島センター
12. その他  
ノート PC 関連で, Office2007 でも OK.  
各大学で本プログラムへの受講学生人数を早めに **fix** する.

外部評価委員(計5名)

(敬称略)

- ・今井良彦 松下電器産業株式会社 ソフトウェア開発本部  
ソフトウェアエンジニアリングセンター・所長
- ・大場 允 広島市立大学 情報メディア工学科・教授
- ・富野 壽 株式会社構造計画研究所・会長
- ・三坂重雄 シャープ株式会社・常任顧問
- ・森原一郎 NTTソフトウェア株式会社  
エンタープライズ・ソリューション事業グループ  
ビジネスアプリケーション事業ユニット 事業ユニット長

---

第1回外部評価委員会スケジュール

日程: 3月30日(金)

時間: 10時～13時

場所: 大阪大学大学院情報科学研究科 2階会議室(吹田キャンパス)

## 第4回運営委員会資料

実践ソフトウェア開発科目 4月20日オリエンテーション

07/2/6 津田

開講にあたり、本講座の意義を説明して参加者の意思を統一する。併せてコミュニケーションの円滑化により、グループ演習の早期立ち上げを図る。

## スケジュール

10:30 ; 事前テスト（基本情報処理技術者試験＋一般常識）：学生の技術力を把握する

13:00 ; オリエンテーション

- ・ ITspiralの説明（阪大 井上）
- ・ カリキュラムの説明（津田）：講義内容と講師の紹介
- ・ 関係者の紹介：大学（井上、楠本）企業（津田、崎山）、TA3名、各大学の専任/補助教員、事務局（吉田さん）
- ・ 連絡事項：事務手続き、連絡方法（阪大 吉田）

14:00 ; グループ分け

- ・ ハーマンモデルの性格診断：チームメンバの性格分析
- ・ グループ分け：性格診断結果により異なる性格を組合わせたグループ構成にする
- ・ 学生の自己PR：1分/人×40名＝40分

15:00 ; アイスブレイクゲーム

- ・ グループワーク：ゲーム(40分)＋まとめ(30分)

16:30 ; 終了

学生PCの環境構築は、別途時間を設定する。

## 教育プログラムの目的

実践的なソフトウェア開発の専門スキルを身につける

## 技術スキル

- ・ 要求定義
- ・ モデリング技術
- ・ 開発/テスト技術
- ・ 運用/保守技術



## マネジメントスキル

- ・ 開発プロセス
- ・ 見積技術
- ・ プロジェクト管理
- ・ 検査、品質保証

## ヒューマンスキル

- ・ コミュニケーション技術
- ・ プレゼンテーション技術
- ・ 思考技術
- ・ 法律の遵守(コンプライアンス)

## 平成19年度大学院授業日程表

情報科学研究科

大学院授業科目名	実践プロジェクト管理・実践ソフトウェア開発論・実践ソフトウェア開発演習			
担当教員名(代表)	井上克郎	受講者数		65名
学期	通年	曜日・時限		金曜日 2～6限

日付(曜日)	実授業時間(使用時間)	使用部屋名	予約番号	担当教員	使用備品
4月20日(金)	2-6限(10:30～19:00)	講義室2	20883、20884、16443	井上克郎	プロジェクター、プラスマ、マイク、ODINSネットワーク
4月27日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	20885、20886、16444	井上克郎	〃
5月11日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	20887、20888、16446	井上克郎	〃
5月18日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	20889、20890、16447	井上克郎	〃
6月1日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	20891、20892、16449	井上克郎	〃
6月15日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	20893、20894、16451	井上克郎	〃
6月29日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	20895、20896、16453	井上克郎	〃
7月13日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	20897、20898、16455	井上克郎	〃
7月27日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	20899、20900、16457	井上克郎	〃
10月5日(金)	2-6限(10:30～19:00)	講義室3	3695、3696、3697	井上克郎	〃
10月12日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	3740、3741、3742	井上克郎	〃
10月26日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	3830、3831、3832	井上克郎	〃
11月9日(金)	2-6限(10:30～19:00)	講義室2	20901、20902、17952	井上克郎	〃
11月16日(金)	2-6限(10:30～19:00)	講義室3	3965、3966、3967	井上克郎	〃
11月30日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	4055、4056、4057	井上克郎	〃
12月14日(金)	2-6限(10:30～19:00)	講義室2	20903、20906、16470	井上克郎	〃
12月21日(金)	2-6限(10:30～19:00)	〃	20904、20905、16471	井上克郎	〃

※ 本授業は、文部科学省「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム」に採択されたプロジェクトの一環で実施している授業であり、大阪大学を含め情報系9大学の学生が中ノ島センターに集まり受講します。よって、日程・時間帯・場所等の変更が簡単に行えないため、講義室が取れないということがないよう、ご配慮願います。

先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラム拠点意見交換会

開催日： 平成19年2月9日（金）午前10時から

開催場所： 大阪大学中之島センター  
〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53  
電話：06-6444-2100 FAX：06-6444-2338

議事次第：

- 10:00～10:10 挨拶  
大阪大学副学長 鷺田清一
- 10:10～ 各拠点のプログラム概要説明と進捗状況報告（各拠点 45 分）  
・「先端 IT スペシャリスト育成プログラム」  
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長・教授 徳田英幸ほか
- 10:55～ ・「高度なソフトウェア技術者育成と実プロジェクト教材開発を実現する  
融合連携専攻の形成」  
大阪大学大学院情報科学研究科教授 井上克郎・楠本真二
- 11:40～12:00 質疑応答
- 12:00～13:00 意見交換会（全体討論）（於：中ノ島センターレストラン9階）
- 13:00～13:30 中之島センター施設見学
- 13:30～17:00 ソフトウェア工学工房（於：中之島センター7階講義室3）セミナー見学

「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム拠点意見交換会出席者一覧」

関西地区

鷺田清一（大阪大学副学長）  
西尾章治郎（大阪大学 大学院情報科学研究科長、教授）  
井上克郎（大阪大学 大学院情報科学研究科 教授）  
今瀬 真（大阪大学 大学院情報科学研究科 教授）  
楠本真二（大阪大学 大学院情報科学研究科 教授）  
深海 悟（大阪工業大学 情報科学部情報システム学科 教授）  
松本健一（奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授）  
Michael Barker（奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 特任教授）  
福安直樹（和歌山大学 大学院システム工学研究科 助手）  
渡 洋二（大阪大学 大学院情報科学研究科 事務長）  
秋山孝子（大阪大学 大学院情報科学研究科 大学院係長）  
木村圭志（財団法人 千里国際情報事業財団）  
吉田佳世（大阪大学 大学院情報科学研究科 IT Spiral 事務局）

関東地区

徳田英幸（慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科委員長、教授）  
高汐一紀（慶應義塾大学 環境情報学部 助教授）  
山本喜一（慶應義塾大学 大学院理工学研究科 助教授）  
村岡洋一（早稲田大学 理工学術院 教授）  
深澤良彰（早稲田大学 理工学術院 教授）  
南部 明（日本電信電話株式会社 サイバースペース研究所長）  
室井庸次郎（中央大学 理工学部 事務室課長）  
久保朋子（慶應義塾大学 理工学部学事課）  
松田健太郎（慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学事担当課長）